

令和5年度 コミュニケーション英語Ⅱ(3学年染織デザイン科) シラバス 首里高等学校

教科:外国語、 科目:コミュニケーション英語Ⅱ、単位数:2単位、学年:3年染織デザイン科

使用教科書: Crown English Communication II New Edition (三省堂)、 副教材: 教科書準拠ワークブック

学期	月	学習項目 (単元名等)	学習内容	評価の観点 評価基準 (S:Speaking L:Listening R:Reading W:Writing)				考 査 範 囲
1 学 期	4	Lesson 5 Saving Cherokee	【文化についての理解】 民族にとっての母語の大切さについて触れる。 民族のことばと文化との関係について理解する。	4 技 能	S	正しいリズムやイントネーションを用いて話すことができる。	中間 考 査	
			L		聞いた内容について正しく理解することができる。			
			R		国の同化政策によって絶滅しかけたチェロキー族がどのようにして守られてきたか、その経緯を正しく読み取ることができる。			
			W		複合関係詞、不定詞の完了形、比較級＋than＋S＋V、を理解する。			
	5	Lesson 6 Ashura—A Statue with Three Faces—	【文化についての理解】 阿修羅像に見られる古代ギリシア等の影響を知る。 阿修羅像がつけられた1300年近く前の、当時の人々の想いに触れる。		S	正しいリズムやイントネーションを用いて話すことができる。		
			L		聞いた内容について正しく理解することができる。			
			R		阿修羅像の歴史、作られ方、古代ギリシア等の影響を正しく読み取ることができる。			
			W		結果を表す不定詞、倒置、無生物主語の他動詞構文の文を正しく書くことができる。			
	6	Lesson 7 Why Biomimicry?	【文化についての理解】 バイオミミクリーの背景にある、「自然との共生」という考え方に触れる。 人間は、動植物の生態や形状から多くのことを学べるということを知る。	S	正しいリズムやイントネーションを用いて話すことができる。			
			L	聞いた内容について正しく理解することができる。				
			R	動植物に学んだ技術や素材などの実例を、正しく読み取ることができる。				
			W	仮定法現在、if節のない仮定法、未来に関する仮定法の文を正しく書くことができる。				
	7	Lesson 8 Working against the Clock	【文化についての理解】 世界中で、未処理の地雷の問題が深刻であることを理解する。 国際的な援助活動には、現地の事情に即した工夫も必要であることを理解する。	関心・意欲・態度	【言語活動への取り組み】 平和への取り組みについて、積極的に話し合ったり、意見の交換をしている。 【コミュニケーションの継続】 平和についての自分の考えを、より正確にわかりやすく伝えるように工夫している。		期 末 考 査	
					4 技 能	S		【正確な発話】 正しいリズムやイントネーションを用いて話すことができる。 自分自身のことについて、完了の分詞構文を用いて正しく話すことができる。【Grammar】 【適切な発話】 「地雷や爆弾がある国の問題について、日本がなぜ心配するのかわからない」という意見について、自分の考えを整理して、わかりやすく話すことができる。【Your Reaction】
						W		【正確な筆記】 完了の分詞構文、受け身の進行形、S＋is＋C(C＝whether節)の文、を正しく書くことができる。 【適切な筆記】 伝えたい内容に応じて語句や表現を選択し、適切に書くことができる。 「地雷や爆弾がある国の問題について、日本が心配するのかわからない」という意見について、自分の考えを整理し、わかりやすく書くことができる。【Your Reaction】
						L		【正確な聞き取り】 聞いた内容について正しく理解することができる。 【適切な聞き取り】 聞いた内容について概要や要点を把握することができる。 「地雷や爆弾がある国の問題について、日本が心配するのかわからない」という意見についての発表を、内容を整理しながら聞き取ることができる。【Your Reaction】
			R	【正確な読み取り】 世界の地雷の問題、そして日本人による地雷除去活動を正しく読み取ることができる。 【適切な読み取り】 広瀬教授の地雷除去ロボットが、現地で受け入れられるまでの工夫を適切に読み取ることができる。				

2 学 期	9 1 0	Lesson 9 The Long Voyage Home	【文化について の理解】 「はやぶさ」が 宇宙探査でどん な任務を負い、 果たしたかを理 解する。 「はやぶさ」が 小惑星のサンプ ルを持ち帰った ことの意義を理 解する。 【言語について の知識】 独立分詞構 文、未来進行 形、未来完了 形、を理解する。	関心・ 意欲・ 態度 4 技 能	【言語活動への取り組み】 内容の展開を理解しながら読み、読んだ内容について意見や感想を述べようとしている。 【コミュニケーションの継続】 理解できないときは、繰り返しや説明を求めするなど、活発にコミュニケーション活動に参加している。	中 間 考 査		
					S		【正確な発話】 正しいリズムやイントネーションを用いて話すことができる。 自分の将来について、文法に従って正しく話すことができる。【Grammar】 【適切な発話】 「はやぶさは成功したが、私たちの日常生活にはあまり役立たない」という意見について、自分の考えを理由などとともに的確に話すことができる。【Your Reaction】	
							【正確な筆記】 独立分詞構文、未来進行形、未来完了形を用いた文、を正しく書くことができる。 【適切な筆記】 伝えたい内容に応じて語句や表現を選択し、適切に書くことができる。 「はやぶさは成功したが、私たちの日常生活にはあまり役立たない」という意見について、考えを理由などとともに簡潔に書くことができる。【Your Reaction】	
							【正確な聞き取り】 聞いた内容について正しく理解することができる。 【適切な聞き取り】 聞いた内容について概要や要点を把握することができる。 「はやぶさは成功したが、私たちの日常生活にはあまり役立たない」という意見についての発表を、内容を整理し聞き取ることができる。【Your Reaction】	
							R	【正確な読み取り】 「はやぶさ」の負った使命、およびその行程を正しく読み取ることができる。 【適切な読み取り】 「はやぶさ」のプロジェクトが最終的に成功した要因を、適切に読み取ることができる。
	10 11	Lesson 10 Grandfath er's Letters	【文化について の理解】 二つの世界大 戦など、絵手紙 が書かれた20世 紀前半の世界情 勢を知る。 メールやイン ターネットが無 かった時代に、 手紙が果たした 役割を知る。 【言語について の知識】 不定詞の受け 身、動名詞の受 け身、を理解す る。	関心・ 意欲・ 態度 4 技 能	【言語活動への取り組み】 メールと違う手紙が持つ良さについて、積極的に話し合ったり、意見の交換をしている。 【コミュニケーションの継続】 ほかの生徒のクラス発表に対して、興味・関心を示して質問するなどしている。【Your Reaction】			
					S		【正確な発話】 正しいリズムやイントネーションを用いて話すことができる。 自分自身のことを、受け身の不定詞や動名詞を用いて、正しく話すことができる。【Grammar】 【適切な発話】 「メールの利点には手紙以上の価値がある」という意見について、自分の考えをわかりやすく話すことができる。【Your Reaction】	
							【正確な筆記】 不定詞の受け身、動名詞の受け身の文を正しく書くことができる。 【適切な筆記】 伝えたい内容に応じて語句や表現を選択し、適切に書くことができる。 「メールの利点には手紙以上の価値がある」という意見について、自分の考えをわかりやすく書くことができる。【Your Reaction】	
							【正確な聞き取り】 聞いた内容について正しく理解することができる。 【適切な聞き取り】 聞いた内容について概要や要点を把握することができる。 「メールの利点には手紙以上の価値がある」という意見についての発表を、内容を整理しながら聞き取ることができる。【Your Reaction】	
							R	【正確な読み取り】 カカとその家族がたどった運命と時代背景を、正しく読み取ることができる。 【適切な読み取り】 メールとは違った手紙独特の良さはどこから来るのか、適切に読み取ることができる。
	12	Reading 2 A Fall before Rising	【文化について の理解】 自分の恵まれ た境遇を思い、 他者へ貢献すべ きと主張する筆 者の考えに触 れ、自分にも何 ができるかを考 える。 【言語について の知識】 メッセージの込 められた回想文 に親しむ。	関心・ 意欲・ 態度 4 技 能	筆者が作品に込めたメッセージをしっかりと受けとめつつ、意欲的に読もうとしている。 読んだあとに、友だち同士で感想を共有しようとしている。 理解できないところがあれば、周りの人に聞くなどして読み続けている。	期 末 考 査		
					S		【正確な発話】 正しいリズムやイントネーションを用いて話すことができる。 出来事を、順を追って正しく話すことができる。 【適切な発話】 登場人物の心情を推測しながら話すことができる。	
							【正確な筆記】 ストーリーのあらすじを正しい英語でまとめることができる。 【適切な筆記】 伝えたい内容に応じて語句や表現を選択し、適切に書くことができる。 筆者の現在の考え方が形作られた理由を、本文の内容に沿ってわかりやすく書くことができる。【Comprehension】	
							【正確な聞き取り】 朗読されるストーリーを正しく聞き取ることができる。 【適切な聞き取り】 朗読されるストーリーを楽しみながら聞き取ることができる。	
							R	【正確な読み取り】 ストーリーの展開を正しく読み取ることができる。 【適切な読み取り】 登山事故を契機に筆者の考え方が変わっていく様子を、適切に読み取ることができる。

3 学 期	1 2	Optional Lesson Err in the Direction of Kindness	【文化について の理解】 ジョージ・ソー ンダースが自分 の経験に基づい て話したスピー チが、人々に与 えた影響につい て知る。	関心・ 意欲・ 態度	【言語活動への取り組み】 新たに知ったことについて、自分の考えや感じたことを意欲的に述べようとしている。 【コミュニケーションの継続】 理解できないところは、質問したり聞き返したりして積極的に理解しようとしている。	
					4 技 能	S
			W	【正確な筆記】 ジョージ・ソーンダースのメッセージを正しい英語で書くことができる。 【適切な筆記】 伝えたい内容に応じて語句や表現を選択し、適切に書くことができる。 ジョージ・ソーンダースが「人生でいちばん後悔していること」の理由について、本文の内容に即して書くことができる。		
				L		【正確な聞き取り】 聞いた内容について正しく理解することができる。 【適切な聞き取り】 聞いた内容について概要や要点を把握することができる。
			R			【正確な読み取り】 ジョージ・ソーンダースのスピーチの内容を正しく読み取ることができる。 【適切な読み取り】 ジョージ・ソーンダースの「人生でいちばん後悔していること」とは何か、「人間はどうしたら優しくなれるのか」を適切に読み取ることが